

V 滋賀県

事業開始日	平成18年1月1日
-------	-----------

1 各モデル地域の事業の状況について

1) 本事業実施前の地域の状況と課題

(1) 事業実施の前年度の分娩を取り扱う病院・診療所・助産所の状況

	分娩を取り扱う施設			
	病院	診療所	助産所	その他(自宅等)
施設数	19	24	7	/
分娩数	5595	7217	62	25

* 施設数は平成17年の状況

* 分娩数は人口動態統計「分娩場所別出生数」より

(2) 地域の産科医療の状況と課題

① 行政の視点

- 産科医師不足の影響で相次ぐ産科閉鎖、縮小(過去5年間に8病院閉鎖)。
- 医師1名の開業診療所が多く、高齢化傾向にある。
- 産科医師2名以下の病院が約6割を占めている。医師不足で過酷な労働状態となっている。
- 高齢出産、不妊治療等によりリスクの高い妊婦が増加、低出生体重児も増加してきている。

② 産科医療機関の視点

- 病院、診療所、助産所の役割分担、安全性の確保が必要。
- 産科医療従事者の育成研修が必要。

2) 本事業の実施状況

(1) オープンシステム、セミオープンシステム病院概要

→平成19年12月6日現在 実績は平成18年1月～12月

病院名	全病床数	産科 病床数	MFICU 病床数	NICU 病床数	年間 分娩数	産科 医師数	助産師数
滋賀医科大学	608	42 婦人 科と混合	0	6	275	14	18

(2) オープン病院化連絡協議会の運営状況

① 連絡協議会の構成員

- 自治体関係者：県（健康推進課・医務薬務課 計 6 人）
- 関係医療機関・関係団体：滋賀県産婦人科医会（会長、理事 計 4 人）、オープン登録医師（代表 7 人）、オープン登録助産師（代表 2 人）、滋賀医科大学附属病院（産科医師、助産師、地域連携室 計 7 人）

② 連絡協議会開催状況（開催日、協議内容等）

- 第 1 回 平成 18 年 10 月 12 日 協議内容 実績報告、問題点の抽出
- 第 2 回 平成 19 年 11 月 29 日 同上の議論と滋賀県の周産期医療の現状・問題点の抽出ならびに助産師養成所設立に関する議論

(3) モデル事業の実施前後の分娩状況等の主な変化

① モデル事業の登録施設数及び総分娩数の推移

	オープン・セミオープン病院		オープンシステム				セミオープンシステム				
			登録診療所		登録助産所		登録病院・診療所		登録助産所		
	施設数	総分娩数	施設数	総分娩数	施設数	総分娩数	施設数	総分娩数	施設数	総分娩数	
実施前：H17 年	1	259	—	—	—	—	23	4659	5	—	
事業後	H18 年	1	275	—	—	—	—	23	6139	5	—
	H19 年	1		—	—						

* 登録病院・診療所の施設において、分娩数の情報が把握できたもののみ集計しました。（平成 17 年 17 力所、平成 18 年 20 力所）

* 助産所の分娩数は把握していません。

② セミオープンシステムを利用した分娩数→平成 19 年 12 月 6 日現在

	登録診療所からの紹介による分娩数(①)	登録助産所からの紹介による分娩数(②)	セミオープンシステムによる分娩数の計(①+②)	
事業後	H17 年度	2	0	2
	H18 年度	20	0	20
	H19 年度	8	0	8